

花咲く春に向かって

新しい年が始まり一月が過ぎようとしています。新型コロナウイルスの拡大に伴う緊急事態宣言下ではありますが、学びを止めることなく、充実した教育活動を実施しています。社会全体でコロナの影響によるストレスが心配されていますが、生徒たちは、元気に生き生きと学び続けてくれていることを心よりうれしく思います。下京中学校では、1月～3月までの期間を花の期としています。「花とは、自分自身にプラスになる何かを身につけること」と位置づけ、かけがえのない学びの時間を有意義に活用し、将来必要な資質・能力を身につけるための取組を行っています。3月、生徒それぞれに美しい花を咲かせてくれることを願っています。

飛鳥・平安文化の衣装を学ぶ<1年生>

1月18日・19日、社会科と家庭科のクロスカリキュラムとして、1年生では学級ごとに、飛鳥文化と平安文化の衣装の特徴や違いについて学びました。映画村で時代衣装のお仕事をされている岡村様を講師に招き、時代劇の撮影に使用されている時代衣装を鑑賞し、代表生徒が実際に着用する体験を通して、時代ごとの衣装の違いから、当時の文化や生活について深く学ぶことができました。十二単の豪華さと重量には驚きの声が上がっていました。



「いのちプロジェクト」卒業生から学ぶ <3年生>

- 1月22日、3年生では『いのちプロジェクト』の取組がありました。この『いのちプロジェクト』は、
1. 様々な分野で活躍している第一人者を通して「授かった命を輝かせる」ことの尊さを学ぶ。
 2. 生きる力やそれを支える精神力の向上を図りながら、自らが前向きに生きることの大切さを感じる。
 3. 様々な生き方やキャリアの育み方を学び、自らの個性を磨き伸ばそうとする態度を養う。

という目的で実施されました。本来なら、体育館での講演を予定していましたが、感染防止の観点からオンラインでの実施となりました。外部講師として紙芝居一座「やっさん一座」の今村郁美さん（活動名：いっきゅうさん）をお迎えし、実際に紙芝居を披露していただきました。今村さんは本校卒業生（1期生）なので、在学中や卒業後の話題、紙芝居の魅力や紙芝居師を目指すきっかけなどをざっくばらんにお話していただきました。卒業間近の3年生にとって、今後の自分自身の生き方を考える貴重な時間となりました。



育成学級小中交流会<1組>

1月25日、1組ではオンラインによる小中交流会を行いました。下京中学校の生徒が司会役となり、洛央小・下京雅小・梅小路小・下京涉成小の5.6年生と学校紹介やクイズを行い、楽しい時間を過ごすことができました。それぞれに役割をしっかりと果たし、先輩らしい姿を見せることができました。



大切な人を守るために

マスク、手洗い、身体的距離の確保の基本的感染対策の徹底、不要不急の外出自粛等、感染拡大防止のために、引き続き健康管理に最大限に努め、この困難を乗り越えましょう。

